



善正寺だより

掲示板法話

当たり前の幸せ 当たり前が幸せ

仏法は目覚めの妙薬である

今年の新年に頂いた年賀状で「おめでとう」という言葉を避けたものがかなりありました。「ぶじあけました ありがとうございます」と冒頭に書かれ、末尾に「あなたがいるから私がいまいます」と朱書されています。仏教徒らしい年賀状だと感じ入りました。

東日本大震災は動かぬものと思いついでいる大地(地球)の激しい震動、自然の脅威を痛烈に思い知らされました。それと同時に、人と人の絆、つながりの大切さを改めて感じさせられました。この年賀状を送って下さった方はその学びを「無事明けました」、「あなたがいるから私がいまいます」というやさしい言葉に置き換えてくださいました。これはお釈迦様が発見し、教えて下さった「縁起の法」そのものですね。

昨年末、「一色一光」(中西智海先生喜寿記念文書、永田文昌堂)という書物が出版されました。そこに、「まことに遇えたよろこび」という中西先生ご自身の法話の中で、「あたりまえ」という子供さんの詩が引用されています。

〈あたりまえ〉

食べられる 眠れる
歩ける 朝を迎えられる
母がいる
みんな あたりまえのこと



あたりまえのことは
あたりまえじゃないんだと
あたりまえのなかのしあわせに
気づかずに
薬を使って偽物のしあわせを
求めたぼくは
いまやっと 気がついた
あたりまえの しあわせ
あたりまえが しあわせ

子供の詩の優秀作品ということですが、ずばりと言いついています。「偽物のしあわせを求めたぼく」とは現代文明(薬)の恩恵の中にすっぽりと浸っている私たちの姿そのものです。「文明と云う薬」は使っている間にだんだん「有難み」をマヒさせる麻薬に似ています。しかし、大震災は「食べられる、眠れる」母が「母がいない」などの「あたりまえ」が実は「かけがえのない有難い恵みであ

〒:512-0902
三重県四日市市
小杉町1014
浄土真宗
本願寺派
善正寺
TEL:0593-31-1670
TEL:0593-32-0733

☆行事ご案内☆

☆2月の門信徒会例会 2月19日(日)夜7時半

- ① 地域社会における絆の大切さと再興の道
- ② 身近なお経を読む:「しんじんのうた」「らいはいのうた」

◇キッズサンガ 2月4日(土)午後4時よりお友達誘って来てね
毎日夕方5時の鐘撞きは誰でもOK 飴ガム付。年中無休

◇三重組コーラス 2/14(火)練習、3/12(月)静岡南荘
宏先生講習会 いずれも午後1時半 智積西勝寺様で

善正寺ホームページ「三重 善正寺」で検索。「住職と坊守のつれづれ日記」が好評。開設3年5ヶ月で6万アクセス突破、一日70以上訪問

〈予定〉

☆3月17日(土)午後1時半と夜、18日(日)午後1時半
「春季永代経」講師 尾崎裕正先生(奈良)

☆4月21日(土)午後1時半「初参式と降誕会」(三全仏婦主催)
赤ちゃんや幼児を大募集中!地域の皆で子供の成長を祝福。
参加費千円(写真・記念冊子・数珠、赤飯)是非この機会に!
(募集のお知らせ)

☆4月13日(金)京都山科別院「親鸞聖人750回大遠忌法要
参拝」(ご門主様ご出座)申し込み先、館勇次(電話059・331・9411)まで、お早めに!

☆一縁会テレホン法話集14冊目の新刊本『心おきなく迷って
いける』発売中!059・354・1454へ3分間の電話法話!



(上) 新家族が勢揃い



(下) 報恩講お非時

つた」と揺さぶられ、目覚めを我々にも
たらしめました。絆(仏教的には縁)の大
切さに目覚めた言葉が「あたりまえが
しあわせ」という大発見です。仏法は偽
物にマヒした感覚を真実に目覚めさせ
る妙薬なのです。



2012.1.1.元旦会 家族揃って60名が参拝し善正寺
『元旦会』60名が家族揃って本堂で新年のスタート!

坊守スケッチ



「悲しみに寄り添う」とは？



NHK TVの朝ドラ『カーネーション』の一場面。主人公糸子の幼馴染の吉田屋の奈津は、実家が没落して戦後パンパンになった。洋裁の仕事も繁盛して子供にも恵まれた糸子が、奈津を救いだそうと奮闘するが、追い返される。糸子は近所の髪結いの玉枝を訪ね

「奈津を救えるのはオバチャンしかない。どうか奈津を助けて」と頼み込む。玉枝は、二人の息子を戦死させ、悲しみのどん底で臥せていた。奈津の底にいる奈津にとっては、上から目線の糸子のお説教よりも、共に涙を流

してくれる玉枝の方がありがたかった。玉枝は「あんたもしんどかったなあ。たった一人で」と言ったきり、共に涙するだけだった。奈津は玉枝の優しさに触れて、やっと心を開けて大声を上げて泣いた。これがきっかけで、やがて二人は立ち直ることが出来る。

以前読んだ本に「熱を下げるのに、解熱剤を使って下げるよりも、汗をかかせて熱を下げるほうが効果的。前者を『対治』というのに対して後者を『同治』という」と書かれていた。まさしく玉枝の涙は『同治』で奈津を救った。

愛する人や大切なものを失った時に抱くショック、怒り、悲しみ、自責の念といった反応を、グリーフという。その人達の悲しみに寄り添い、話を聞

き、思いを受け止めて支援をすることをグリーフケアと呼ぶ。グリーフケアの仕事は、個人差があつて長い時間がかかり根気がいる。専門医でも、一朝一夕には片付けられない。

十七年前の阪神大震災の遺族が次のように語った。「泥水は時間を置くように沈む。私の悲しみも普段は泥のように沈み、上の水が澄んでいるように私も平静に見えるかもしれない。しかし何かのきっかけで、心が乱れ、泥が浮き上がるように悲しみも蘇る」。

以前の東日本大震災で再び十七年前の記憶を思い出されたに違いない。愛する人を失った遺族の悲しみは筆舌に尽くしがたい。しかし悲しみ自体は一生消えないけれども、このまま生きてゆくのだという覚悟ができた時、前を向いて歩んでいける。そして自分の人生にこんなにも愛した人がいたんだということ。「心の宝物」にして、記憶に残すことが大切だ。

アメリカに住む元教え子から手紙が来た。「昨年の大震災後通りすがりのアメリカ人が抱きついて『日本は大変だったね』と一緒に涙してくれました」。日本では被災地とそうでない地域との温度差が明確だが、日本を外から眺めると、同治の涙を流してくれる外国人さえいる。同じ日本人でありな

がら、悲しみを忘れがちになることが恥しい。坊守は「グリーフケア」が大変な仕事だと思ふ。近頃善正寺のホームページ「お問い合わせ欄」にも、悩み相談のメールが寄せられるようになった。真摯にその心を受け止めよう。

☆寄稿

四日市市 川崎孝一

☆花卉店の 割引券で買う如雨露

蒔きましょ種を 蒔きましょ水を

☆イケメンの 容姿に譬えむ 丈がある 花もまた良し 皇帝ダリアを

☆内陣の 黄金に映えて 眩しかり

あさひに射し入る 朝事の初日

☆無意識に 魍魎魍魎と 辞書引けば 吾が身にも棲む 鬼のそれぞれ

♪三重組コーラス♪

☆練習場所は智積西勝寺様で午後1時半・☆ 2/14(火)・ 3/12(月)

(静岡・南荘宏先生の講習会)

キッズサンガ・杉の子合唱団

☆2月4日(土) 午後4時より

友達を誘って来てね！ 鐘撞きは年中

無休夕方5時。ご褒美のガムや飴つき

☆カンパ有難う☆

萩様・松岡様・小林様、金森様、岡本

様、栗本様、藤井様、他匿名様よりお

志・葉書・切手有難うございました

☆ホットニュース☆

(募集のお知らせ)

◇四月十三日(金)京都山科別院親鸞

聖人750大遠忌法要参拝(ご門主様

ご出座！)申し込みは小杉館勇次まで

(電話059・331・9411)

◇四月二十一日(土)午後一時

三全仏壇主催「初参式」赤ちゃんや子供

さんを大募集！参加費千円、申し込みは善正寺へ。わが初孫も参拝予定

☆善正寺のホームページ。「三重 善正

寺」で検索可。毎日更新の「住職と坊守

のつれづれ日記」が好評。去る1/15

(開設3年5ヶ月)で6万アクセス突破

平成24年度今後の主な行事予定

◇「春季永代経」3月17(土)午後1時

半・18(日)午後尾崎裕正師(奈良)

◇4月21日(土)午後「初参式・降誕

会」加藤幸子師☆午後1時半三全仏壇

◇5月20日(日)

午前・総会と午後「公開法座」講師

石川欣也師(奈良)

◇「秋季永代経」8月18(土)・19

(日) 加藤正人師(桑名)

◇「報恩講」11月2日午後1時半と夜

6時半・3日午前10時・午後1時三全

仏壇報恩講 講師大島信隆師(岸和田)

今年から報恩講が11月に変わります

ので、よろしくお願ひします。

◇「秋勧進」11月23日午前

◇「お内仏報恩講」12月1日(土)夜

※毎月の善正寺門信徒会例会は、原則

として第3日曜日の夜7時半より。

☆ 編集子より ☆

「善正寺だより」第二一八号をお届けし

ます。◇この冬は例年になく寒い。東北

地方の冬はもっと厳しい寒さであろう。

◇寒さの中でも「温かさ」の共感できる

国、地域、家族でありたいと切に思う。

曆の上では立春ですが、まだまだ寒い。今日この頃、如何にお過ごしですか。この一年間で我が家の家族構成が一変しました。老夫婦だけでした。ご飯も洗濯物も少量です。すぐ済みませす。からんとした子供部屋で子育てをしていた頃を懐しむ昨今です。料理もつい多目に作り過ぎ、隣に住む息子夫婦にお握分け、朝夕のお参りだけは家族四人揃ってしています。若嫁もお寺の生活に少しずつ馴染んできたようです。三月には新しいのちが誕生日予定、四月二十日(土)仏壇主催の初参式には生後間もない我が初孫も参拝できるとは嬉しいかと、楽しくみにしています。目下一緒に参拝できるところ、赤らさん、幼児を大募集中です。ところで阪神大震災から十七年経ちました。震災で若い息子さん夫婦を亡くされたお父様のお話です。「悲嘆のどん底から何とか生き抜いてこられたのは日本人との出合いのおかげです。悲しいのは私一人だけではない。共に悲しみ、助け合って下さる人がいる。今度私は私が困っている人を支える番だ。昨年の東日本大震災には積極的にボランティア活動に参加しました。何と力強い言葉集めでしよう。テレビに登場するまよな声高の政治家達、日本を救うのではありません。名もない人々の無償の行動こそ希望の灯を灯すのです。私達も喜んで協力したいものです。二月はグータンの日(布施行)です。

平成二十四年二月 合掌 善正寺坊守 拜